



佐賀大学
有明海
総合研究
プロジェクト

平成17年度

佐賀大学有明海総合研究プロジェクト 成果公開シンポジウム

2006年 7月 17日(月・祝)

会場/佐賀大学理工学部 6号館 (本庄キャンパス)
都市工学科大講義室 (1F) ・多目的セミナー室 (2F)

開催時間/9:30 ~ 16:30

主催/佐賀大学有明海総合研究プロジェクト

お問い合わせ/

佐賀大学有明海総合研究プロジェクト事務局
〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

電話・FAX: 0952-28-8846

<http://www.ariake.civil.saga-u.ac.jp/index.html>



ACCESS

- 佐賀駅バスセンターからバスで約20分
「4番のりば」から市営バス11番相応行又は、12番東与賀行で「佐大前」下車。
「4番のりば」から市営バス63番佐大前行で「佐大前」下車。
- 佐賀駅からタクシーで約15分
- ◆ 駐車場は余裕がありますので、マイカーでご来場いただいても結構です。

平成17年度佐賀大学有明海総合研究プロジェクト 成果公開シンポジウム プログラム

会場：1階都市工学科大講義室

- 9:00～ 受付
- 9:30 主催者挨拶
- 9:45～12:15 コア研究1 成果発表
- 底泥・干潟研究部門
部門全体の成果概要説明 山本浩一
有明海湾奥における底質環境の形成要因に関する研究 山本浩一
有明海において重金属イオンが濃縮されやすい底泥環境に関する研究 田端正明
農業排水からの負荷削減に関する研究 原田浩幸
- 赤潮・生態系研究部門
部門全体の成果概要説明 速水祐一
有明海奥部における物質輸送と低次生態系の動態について -初年度の成果- 速水祐一
有明海干潟域の脱窒と西岸域における貧酸素水塊の発生について 瀬口昌洋
- 環境モデル研究部門
部門全体の成果概要説明 濱田孝治
有明海湾奥部の残差流観測と衛星画像を用いた陸域・水域環境の推定 大串浩一郎
数値モデルを用いた有明海湾奥の残差流に関する考察 濱田孝治
佐賀県沖有明海の覆砂による底質の経時変化について 加藤治

- 昼食 -

- 12:45～13:45 ポスターセッション(2階多目的セミナー室)
- 14:00～15:30 コア研究2 成果発表
- 微生物相研究部門
部門全体の成果概要説明 加藤富民雄
有明海に生息する細菌の生産する型制限酵素 加藤富民雄
有明海由来の微生物に関する研究 小林元太
- 食水系感染症研究部門
部門全体の成果概要説明 中島幹夫
ビブリオ・バルニフィカス感染症対策 -臨床医学的アプローチ 第一報- 中島幹夫
ビブリオ・バルニフィカス感染症対策 -基礎医学的アプローチ 第一報- 大石浩隆
- コア研究3 成果発表
- 地域文化・経済研究部門
部門全体の成果概要説明 山下宗利
佐賀県有明海沿岸域における漁業集落の構造 山下宗利
日韓両国の干潟生態系における食用水族資源の再生産力と採捕量に関する経時的
・計量的比較研究 2: 韓国の現状 武田淳

- 休憩 -

- 15:45～16:30 総合討論
16:30 閉会の辞

開催日：2006年7月17日(月・祝)

会場：佐賀大学本庄キャンパス理工学部6号館(右図)

